

平成三十一年度 一般入学試験（後期）小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで2ページあります。解答用紙は3枚です。下書き用紙は1枚あります。
- 3 試験開始の合図があつたら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

いっしょにいて楽しく話が盛り上がる友だちは、趣味のあうひとやセンスが似ているひとであったり、育った環境や家庭の境遇がおなじようなひとのことが多いので、「気心が知れる」という安心感や連帯感があります。しかし、お互いの気持ちを理解することばかりを意識し過ぎたり、共通の会話ばかりを求めあつたりするあまりに、お互いが相手の行動を束縛しあつたり、それぞれの個性が伸びていくのをつぶしてしまうこともあるのです。思春期に見られる友だち関係の形として、おなじタイプの子どうしが「暴走族」「チーマー」「ギャルサー」「ギャング」「アキバ」「ゴスロリ」「ロリーター」といった集団をつくることがあります。(…中略…)

親友探しをしている思春期の子どもにとって、おなじファッションやおなじ趣味の子は、表面上からの理解がしやすくつきあいやすいようです。「かわいい」「かっこいい」「センスがいい」などとお互いをほめあつています。しかし、趣味やセンスがおなじであれば、持ち物が「かぶつた」「まねした」「抜けがけした」ということも起きてしまい、友だちでいながら、お互いに対しての憧れと嫉妬心の入り交じった感情が渦巻くこともあります。また、ファッションやスタイルなど外見上のあこがれからスタートした友情は、相手の内面に深く踏み込むことができず、うわべだけになりがちで長続きしないようです。

思春期には、積極的に自分と異なったタイプの人と友だちになり、意見を交流しあつたり、刺激を与えあつたりしたいものです。タイプが違うことで自分の長所を客観的に評価してくれることもあれば、短所を指摘されることもあるかもしれません。それもまた楽しいものです。

私にも、中学校や高校でいっしょに好きなスターのおっかけをして長い時間を過ごした友だちがいましたが、スターへの興味がなくなった時点から会話がつづかなくなり、友だち関係も解消してしまいました。いまだにつづいているのは、ぬくぬくした友だち関係から抜け出せずに上京することをためらっていた私に、「あなたならひとりで生活できるから、いくべきだよ」と言つて、背中を押してくれた友だちです。また、失恋したときに慰めてくれるかと思つたら、「あなたが男に甘えようとするからだめなのよ」と厳しく叱つてくれた友だちです。

中学生であつても、「あなたの今日のファッション、ちょーイケてないし」「おまえは、はつきり言わないから誤解されるんだよ」などと、言葉はきつなくても相手のことを考へて指摘したりしながら励ましあつている友だち関係には、こころの奥で深く結ばれている強い絆がみえるようで安心してみていられます。

友だちに自分にはない、包容力、判断力、探求心、知的好奇心、創造力、社会性、主体性など、優れた力や性質を見出したとき、尊敬する気持ちと同時に、コンプレックスに陥つたり、嫉妬心(ジェラシー)を感じたりすることもあつてでしょう。しかし、コンプレックスもジェラシーも、その使い方次第では、自分を励ますためのエッセンスになるのです。私の周りにはコンプレックスをバネにして努力を重ね夢を実現したり、ジェラシーをエネルギーに変えてライバルを追い越した素敵なおとながたくさんいます。

(金子由美子著『思春期ってなんだろう』岩波ジュニア新書)ただし、原文よりルビは外しています。

問一 先の問題文において筆者の伝えたいことは何ですか。二〇〇字以内で述べなさい。

問二 二重線部はどういうことですか。自分の体験や具体例をもとに三〇〇字以内でわかりやすく説明しなさい。

問三 波線部の筆者の見解について、あなたの考えを自分の体験や具体例をもとに四〇〇字以内で述べなさい。ただし、解答には本文中の二つの傍線部、「内面」・「絆」という言葉を、それぞれ一回以上使用し、その言葉にはすべて下線を引くこと。